

事故の福島原発より近い所に4ヶ所も溢れる林川の具体的解決策を進めて

(一般質問の続き)

環境経済部長は、「雨の通り道や山すそが濃度高いようだ。古葉が汚染し新芽に反映した。古葉の刈り取りと指摘されたお茶の製造工程を研究する」と前向きな答弁でした。



大地震と原発事故想定 の防災計画に見直しを

仙台市防災計画を超えるマグニチュード9.0の東日本大震災が発生。大阪でも9.0を前提で見直しを開始していません。

私は「東日本大地震の影響が生じた立川断層が入間市に隣接。事故原発より近い福島第2、柏崎刈羽、浜岡、東海があるのに、原発事故対策が防災計画にない。見直しを」と質しました。

市民部長は「昭和50年からの防災計画に震度予測はなかった。平成12年からマグニチュード7.0を前提にした。原発事故は防災計画の前提にない。可能な限り研究する」と答弁。

林川の集中豪雨対策を

集中豪雨の時に、50cmも溢れています。私は「林川集中豪雨対策として、極端に狭めた河川断面の拡幅工事費と責任行政機関はどこか。上流の所沢市と遊水池設置などの改善策」を質しました。

建設部長は「不老川への470mは狭山市であり、工事費は2億5千万円。所沢市と11月から協議中、雨水分散策、改修策を検討、早期実施に努力する」と答えました。



県道から不老川まで狭められる林川

義援金募金・ご意見、赤旗購読
申し込みは **石田よしお**へ
電話Fax 2964-4048 携帯070-5086-2075
日本共産党入間市議団HPをご覧ください

狭山茶を守る汚染軽減対策が必要 防災計画を放射能汚染で見直すべき

暑さが厳しい時期ですが、元気にお過ごしでしょうか。節電対策のいき過ぎで体をこわさぬようご注意を。

7月2日、吉澤議員、小出議員、20名くらいの市民のみなさんと「原発ノー」明治公園の集会と新宿駅に向けてのピースパレードに参加してきました。(右の写真)

震災・原発事故後、初の市議会で狭山茶への放射能汚染、防災計画の見直し、林川集中豪雨対策の一般質問をおこないましたので、報告します。

ガマン基準以下、2億円減

福島原発事故の放射能汚染が静岡茶まで広がり、狭山茶の健康と営業への影響が心配です。私は、狭山茶の原発事故汚染の市民からの問合せ数、検査結果、被害状況を質しました。

環境経済部長は「340件市民の問合せあり。生茶葉、飲用茶、製茶の3



回検査したが、暫定基準値(ガマン基準)以下であった。風評被害で生産高9億円の2~3割も売上げが減少」と答えました。

検査結果を軽減対策に

6月の「狭山茶の製茶」検査結果は10ヶ所中、3位までが入間市内です。私は「所沢、狭山と比較し汚染度がなぜ高いのか。生茶葉468ベクレル、製茶330、飲用茶検出せずと製造工程で汚染度が下落している。狭山茶を守るため対策を研究すべき」と質しました。(4面に続く)

日本共産党入間市議会議員

石田よしお市議会報告

(2011年7月号) 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ:「日本共産党入間市議団から石田よしお」へ



長期・広域の放射能から生活守れ

6月定例市議会

原発廃止し自然エネルギーへの転換を

共産党は原発廃止を主張

日本共産党入間市議団は4名全員が一般質問を行いました。それぞれの議員が防災行政、放射能対策、エネルギー政策と地域の懸案事項を取り上げました。

多くの議員が、災害対策や防災対策などを取り上げましたが、原発からの撤退を主張したのは日本共産党入間市議団だけでした。

日本共産党は5年から10年の期限を決めた原発廃止を政府に提言しました。

日本は、太陽光、風力、バイオマス、波力、地熱などの自然エネルギーが、大変豊富です。

今は、原子力の特別優遇のもと、国のエネルギー関連予算のなかで、原子力関連が約4000億円あります。また、使用済み核燃料(死の灰)の再処理費用などに年間2500億円が使われており、合わせて6500億円です。一方で、自然エネルギーをふくむ新エネルギー関連予算は1500億円です。

政策を転換すれば、6500億円の資金を、自然エネルギーの財源に振り替えることができます。

今後も共産党市議団は、危険な原発依存から持続可能な自然エネルギーへの転換を求めています。

市内14カ所の放射線測定結果

測定日	学校名	マイクロシーベルト 測定値(μSv/時)	
		50cm	100cm
		6月29日	豊岡小学校
	扇小学校	0.060	0.059
	黒須小学校	0.059	0.058
	高倉小学校	0.063	0.063
	黒須保育所	0.070	0.065
	藤沢小学校	0.058	0.055
	藤沢第二保育所	0.057	0.056
	東金子小学校	0.064	0.062
	金子小学校	埼玉県が7月中に調査を実施	
	金子第一保育所	0.058	0.056
6月30日	宮寺小学校	0.052	0.050
	二本木保育所	0.046	0.044
	武蔵中学校	0.054	0.051
	西武小学校	0.064	0.060
	野田中学校	0.048	0.046

原発事故の意見書採択

意見書は、事故を一刻も早く収束させること、事故の現状や放射能汚染に関する情報、被曝防護に関する情報を国民に提供し、適切な範囲の住民を速やかに避難させること、国と東京電力は事故の被害を受けた国民に支援と補償を行うこと、原発事故を2度と起こさないために自然エネルギーへの転換を進めること、農産物の出荷規制にかかる放射線量の「暫定規制値」について国際水準に見合うよう見直すこと、以上の5点について国に要請しています。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

原発依存から自然エネルギーへ

吉沢かつら議員

住宅耐震補助・消防広域化・地デジ

石田よしお議員

狭山茶汚染対策・防災計画見直し

安道よし子議員

施設の耐震化・放射線量の測定

来年からシルバーサービスのタクシー券が廃止に

市が高齢者福祉審議会に諮問した「シルバーサービス事業の見直しについて」の答申内容が、市・執行部から全員協議会で議員に報告されました。

現在、シルバーサービス事業は73歳以上の全ての高齢者を対象に、あんま・マッサージ券、タクシー利用補助券、ラドンセンター利用補助券を配布しています。

答申では、「マッサージ券については23年度から対象年齢を縮小、タクシー券

とラドンセンター券については23年度をもって廃止」としています。

タクシー券は公共交通が不便な地域に住んでいる人や足が不自由な高齢者に喜ばれていた制度です。市が取り組んだアンケートでも「タクシー券をなくさないでほしい」という要望が出されています。

タクシー券がなくなれば、足の確保が困難な高齢者はさらに外出が困難になります。事業を継続すべきです。



原発廃止も主張された今年の平和行進

日本共産党市議会報告

2011年7月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075
安道よし子 2962-8082 090(4811)0553
吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077
小出わたる 2932-7884 090(6542)3883